

エコアクション21

環境経営レポート

2022年度版

(運用期間:2022年4月～2023年3月)



沖縄県環境整備センター株式会社

作成日 2023年4月28日

目 次

I	会社概要 -----	1
II	全体概要図 -----	2
III	浸出水処理概要 -----	3
IV	エコアクション21の対象範囲 -----	4
V	環境経営体制 -----	5
VI	環境経営方針 -----	6
VII	環境経営目標 -----	7
VIII	環境経営計画 -----	8
IX	環境経営目標の実績 -----	9
X	環境経営計画の取組結果と今後の予定 -----	10
XI	環境関連法規への違反・訴訟等の有無 -----	11
XII	代表者による全体評価と見直し検討 -----	12

I 会社概要

1 事業所名および代表者名

事業所名 : 沖縄県環境整備センター株式会社(処分場愛称「安和エコパーク」)
 代表者名 : 照屋義実

2 所在地

所在地 : 沖縄県名護市字安和2045番地1

3 事業及び許可内容

事業内容 : 廃棄物処理業
 許可内容 : 産業廃棄物処分業(管理型埋立) 第04731212365号
 (許可年月日:令和3年(2021年)6月8日、有効年月日:令和6年(2024年)10月31日)
 特別管理産業廃棄物処分業(管理型埋立) 第04781212365号
 (許可年月日:令和元年(2019年)11月1日、有効年月日:令和6年(2024年)10月31日)
 一般廃棄物処分業 名護市許可第2号
 (許可期間:令和3年(2021年)10月23日から令和5年(2023年)10月22日)

4 事業規模

設立年月 : 2013年3月 (搬入作業開始 : 2020年2月)
 資本金 : 100百万円
 従業員等 : 5名(常勤役職員5名、他に常駐委託先従業員4名)
 売上高 : 2022年度283百万円(事業年度:期首4月～期末3月)
 処理実績 : 2019年度(産廃:186t、一廃:0t)、2020年度(産廃:4,752t、一廃:0t)
 2021年度(産廃:7,343t、一廃:652t)、2022年度(産廃:7,437t、一廃:257t)

取扱種類

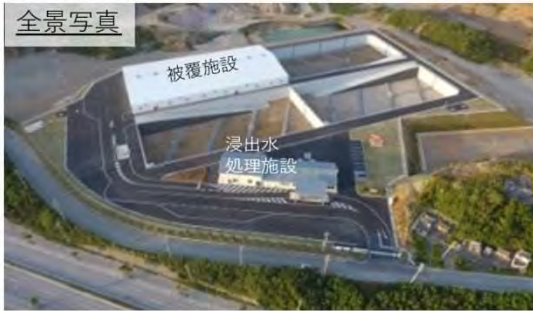
産業 廃棄物	①燃え殻 ②汚泥(無機性) ③廃油(タービッチ類に限る) ④廃プラスチック類 ⑤紙くず ⑥木くず ⑦繊維くず ⑧ゴムくず ⑨金属くず ⑩ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず ⑪鉱さい ⑫がれき類 ⑬ばいじん ⑭産業廃棄物の処理物(第13号廃棄物) (これらのうち水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含まない) ※②④⑤⑥⑦⑩⑪⑬については石綿含有産業廃棄物を含む。
特別管理 産業廃棄物	廃石綿等
一般 廃棄物	①焼却灰(燃え殻、ばいじん) ②不燃ごみ(廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、 コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、一般廃棄物の処理物(特定管理一般廃棄物であるものを除く)) ③その他(災害廃棄物)

5 施設等の概要

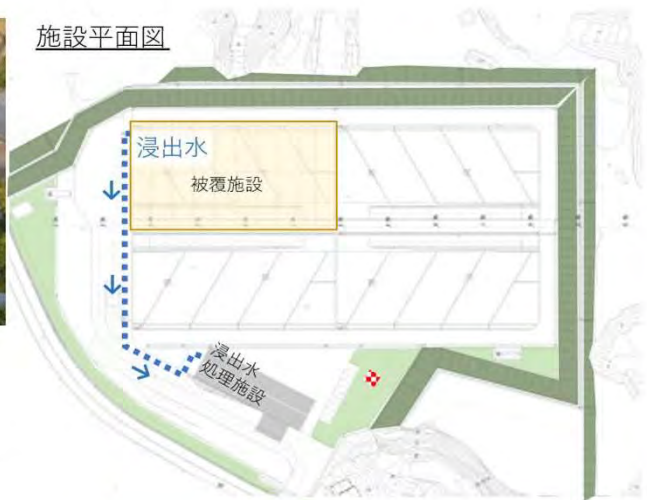
処分場概要 : 産業廃棄物管理型最終処分場
 (4分割構造とし、移動可能な覆蓋による被覆型最終処分場)
 設置場所 : 沖縄県名護市字安和神崎原2027番2、他40筆
 設置年月日 : 2019年10月25日
 設置許可年月日 : 2017年9月14日
 埋立面積 : 13,424m²
 埋立容量 : 88,008m³(令和5年3月3日時点の残容量:71,970m³)
 事務所 : 274.3m²(研修室含む)
 浸出水処理施設 : 286.5m²
 車両等 : 処理水運搬車両1台、軽トラック1台、乗用車1台(リース)、重機1台(委託先のリース)

II 安和エコパーク概要図

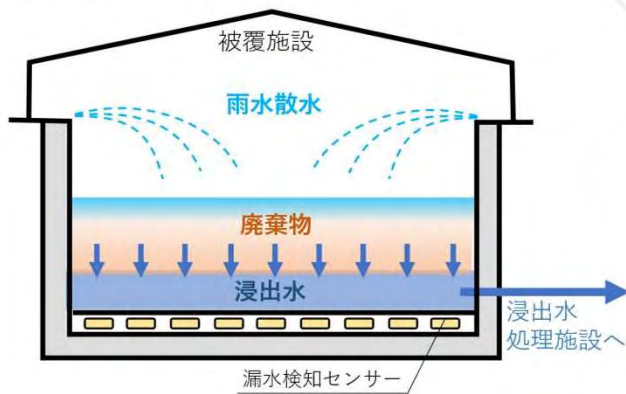
全景写真



施設平面図



模式図



浸出水処理施設

- 1 浸出水調整処理
- 2 第一凝集沈殿処理
- 3 生物処理
- 4 第二凝集沈殿処理
- 5 高度処理
- 6 消毒・貯留
- 7 汚泥処理

Ⅲ 浸出水処理施設概要図

浸出水処理施設

- 1 浸出水調整設備 ▶ 2 第1凝集沈殿処理設備 ▶ 3 生物処理設備 ▶ 4 第2凝集沈殿処理設備 ▶ 5 高度処理設備 ▶ 6 消毒・貯留設備

調整槽にて水質の均一化と移送水量の調整を行います。

浸出水調整設備からの処理水のカルシウムを除去して、処理設備全体にカルシウムスケール障害が生じさせないようにします。

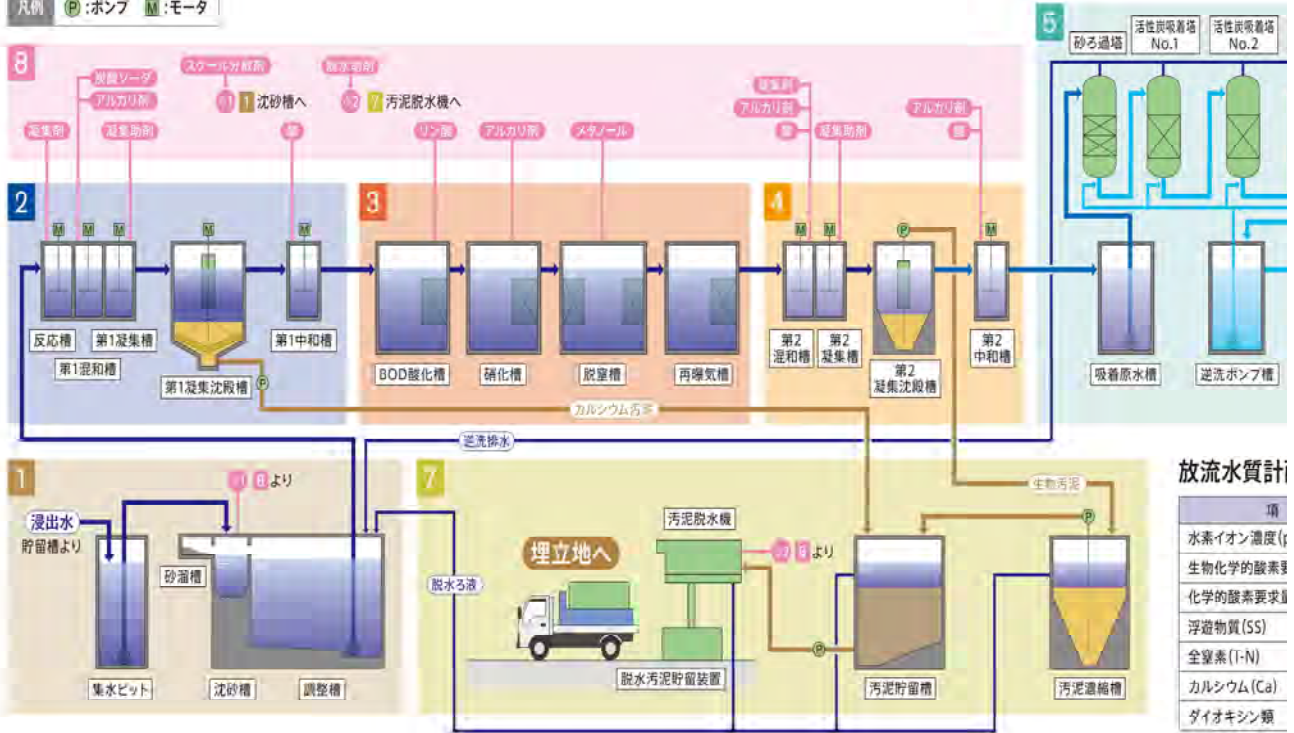
第1凝集沈殿処理設備からの処理水にBODの低減を図り、安定して処理します。

生物処理設備からの処理水に凝集剤等を添加してCOD-SS等を安定的に凝集沈殿処理します。

第2凝集沈殿処理設備からの処理水中の浮遊物を砂ろ過で除去、CODや色度等を活性炭により除去、重金属と水銀をキレート樹脂により吸着除去し、さらに良質の処理水にします。

高度処理設備からの処理水の大量菌等を必要な接触時間を保ち消毒します。

凡例 (P):ポンプ (M):モータ



放流水質計

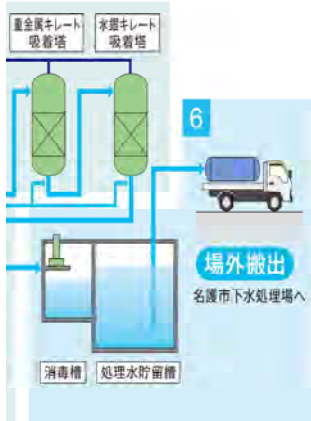
項目
水素イオン濃度(pH)
生物学的酸素要求量(BOD)
化学的酸素要求量(COD)
浮遊物質(SS)
全窒素(T-N)
カルシウム(Ca)
ダイオキシン類

7 汚泥処理設備

処理過程から排出される汚泥を濃縮・脱水します。

8 薬品注入設備

各設備に適切に管理された量の薬品を注入します。



画値

目	単 位	浸出水	放流水質
pH)		4.0~9.0	5.8~8.6
要求量 (BOD)	mg/L	250	15 以下
量 (COD)	mg/L	250	20 以下
	mg/L	300	10 以下
	mg/L	100	60 以下
	mg/L	2,500	100 以下
	pg-TEQ/L	20	10 以下

IV.エコアクション21の対象範囲

1 認証・登録事業者

沖縄県環境整備センター株式会社
〒905-0001 沖縄県名護市字安和2045番地1

2 対象事業所

本社(安和エコパーク)

3 対象事業活動

産業・一般廃棄物処分業(最終処分)

ご挨拶

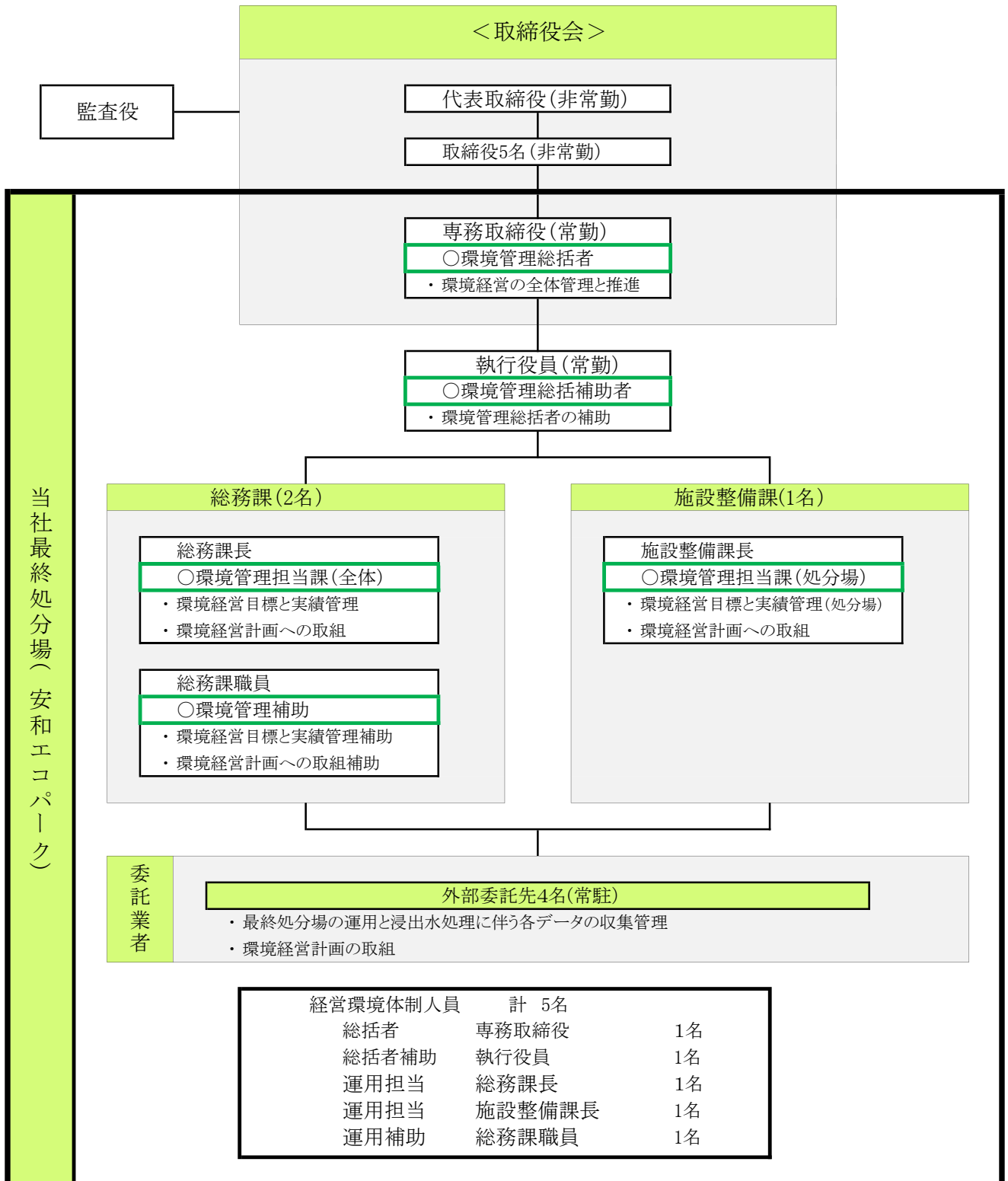


順調な沖縄経済の進展は、一方で年間約180万トンの産業廃棄物を排出しています。各事業者の総排出抑制、再利用が進められ、埋立など最終処分される廃棄物は約4万トンありますが、県内の最終処分場はひっ迫しており、これまで県外へ移送して処分せざるをえない状況にありました。沖縄県では、沖縄県環境整備センター（株）を設立し、平成29年度に公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場の建設工事に着手し、令和元年10月に「安和エコパーク」が竣工しました。「安和エコパーク」は沖縄経済を支えたかつての安和鉱山跡地を活用し、強固な遮水構造を有する鉄筋コンクリート造の埋立地と雨水の浸入を防ぐ屋根で被覆した安全性の高い県内では初めての産業廃棄物最終処分場です。万全な維持管理体制のもとで、地域の皆さんの生活と自然との調和をはかり、安心安全な施設運営に努め、本県の循環型社会の形成や地域産業の振興に寄与してまいります。

V 環境経営体制

凡例:

上段	当社役職
中段	○環境関連体制での割当
下段	・環境関連の担当作業内容



VI.環境経営方針

環境経営方針

当社は、産業廃棄物管理型最終処分場を適正に整備・運営することにより、沖縄県内の生活環境の保全と健全な経済社会の活動を支え、持続可能な循環型社会の構築に向けてその使命を果たすとともに環境経営の持続的改善を実施していきます。

行動指針

1 環境関連法規等の遵守

環境関連法規や地元との環境保全協定を遵守し、安心安全な事業運用を図ります。

2 地元との協調体制確保

安和区内産業廃棄物管理型最終処分場協議会での協議を踏まえ、地元の理解を得ながら事業を遂行します。

3 環境負荷への対応

二酸化炭素の排出削減、水資源の活用と節水、排水の適正処理、廃棄物の排出削減及び化学物質の適正管理に努めます。

4 従業員及び県民の環境意識高揚

従業員(委託先従業員含む)による勉強会を実施し環境についての社内意識を高めるとともに、一般の方々、学生等へ環境等についての研修を実施し、廃棄物処理への認識を深めるとともに環境に対する意識を高めていきます。

5 環境関連データの公表

廃棄物処分量や水質分析結果、環境経営レポート等を公表し、環境活動の啓発に寄与していきます。

制定 2021年8月2日

改訂 2022年4月1日

沖縄県環境整備センター株式会社
専務取締役 普天間 朝好

VII 環境経営目標

- ・環境経営目標は、環境経営方針で定めた5つの行動指針を踏まえて、基準年を2020年度実績値として、単年度目標(2022年度)と中長期目標(2023年度～2025年度)に分けて、以下の5項目10目標を設定しました。
- ・3.環境負荷への対応項目は、化学物質を除いて基準年実績値に対して1%の削減目標とし、このうち電気、重機燃料(軽油)、水道使用量は廃棄物搬入量当たりの原単位目標を設定しました。
- ・また、当社の事業活動の特性を活かした本業目標として、4.従業員及び県民の環境意識高揚と、5.環境関連データの公表を設定し、持続可能な循環型社会の構築を目指しています。

項目番号	環境経営目標	単位	基準年	単年度目標	中長期目標			備考	
			2020年度 (2020/4～2021/3) 実績値	2022年度 (2022/4～2023/3) (△1%)	2023年度 (2023/4～2024/3) (△1%)	2024年度 (2024/4～2025/3) (△1%)	2025年度 (2025/4～2026/3) (△1%)		
1	環境関連法規等の遵守	-	法令等遵守	法令等遵守	法令等遵守	法令等遵守	法令等遵守	法令等遵守	・環境関連法規等を遵守する。
2	地元との協調体制維持	-	協調維持	協調維持	協調維持	協調維持	協調維持	協調維持	・安和区協議会への参加、行事等への参加により協調体制を維持する。
3	環境負荷への対応								
(1) 二酸化炭素排出量	①電気使用量の削減	kg-CO ₂ /t (kg-CO ₂)	10.320 (49,043)	10.217 (△1%)	10.217 (△1%)	10.217 (△1%)	10.217 (△1%)	10.217 (△1%)	・目標値は、2020年度実績値を廃棄物搬入量当たりの数値で示す。 ・排出総量を下段の括弧内に示す(kg-CO ₂)
	②重機等燃料(軽油)使用量の削減	kg-CO ₂ /t (kg-CO ₂)	1.769 (8,408)	1.752 (△1%)	1.752 (△1%)	1.752 (△1%)	1.752 (△1%)	1.752 (△1%)	
	③車両燃料(ガソリン)使用量の削減	kg-CO ₂	1,430	1,416 (△1%)	1,416 (△1%)	1,416 (△1%)	1,416 (△1%)	1,416 (△1%)	・基準年実績値は2021年度推計値で示す。
	(2)水道使用量の削減	m ³ /t	0.029	0.028 (△1%)	0.028 (△1%)	0.028 (△1%)	0.028 (△1%)	0.028 (△1%)	・目標値は、2020年度実績値を廃棄物搬入量当たりの数値で示す。
(3)一般廃棄物排出量の削減	kg	451.2	447 (△1%)	447 (△1%)	447 (△1%)	447 (△1%)	447 (△1%)	・基準年実績値は2021年度8月値で、各目標は年換算で示す。	
(4)化学物質の適正管理	-	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	・対象薬品は、塩化第二鉄のみ。但しその他薬品についても、管理の適正を確認する。
4	従業員及び県民の環境意識高揚	回	研修見学対応 学校1回、 会社等3回	研修見学対応 2回以上	研修見学対応 年6回以上	研修見学対応 年6回以上	研修見学対応 年6回以上	研修見学対応 年6回以上	・内部勉強会は年1回以上開催。 ・外部からの研修・見学は依頼の都度対応予定。
5	環境関連データの公表	-	各データの公表	各データの公表	各データの公表	各データの公表	各データの公表	各データの公表	各月の結果値を、毎月、当社HPへ掲載する

※ ()は、基準年実績値に対する削減率を示す。ただし一般廃棄物は2021年度の実績の年換算値からの削減率を示す。

※ LPGについては、年間使用量が極小(2kg程度)のため、上記表に記載していない。

※ 電力の二酸化炭素排出量は、沖縄電力(株)の2019年度調整後排出係数(0.787kg-CO₂/kWh)を用いて算定した。

※ 電気、重機等燃料、水道使用量等、廃棄物の搬入量や業務量に応じて増減する項目については、廃棄物量あたりの値で目標値を設定した。

※ 一般廃棄物排出量については2021年度8月の値を年換算(12倍)した値(451.2kg)から1%減を目標値としている。

VIII 環境経営計画

・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組(環境経営計画)をSDGsと紐付けて設定して、全社員で取り組みました。

項目番号	目標項目	主な取組計画	時期、頻度	SDGs取組	
1	環境関連法規等の遵守	① 関連法規の改定時の適時内容確認	① 通年	 	
		② 契約手続きの適法性確保	② 契約の都度		
		③ 環境保全協定の随時確認	③ 通年		
2	地元との協調体制維持	① 安和地区産廃協議会会議への参加	① 通年	 	
		② 環境保全協定の随時確認	② 通年		
		③ 地元行事等への積極参加	③ 行事の都度		
3	環境負荷への対応	① 電気使用量の削減	① エアコンの適切な運用(夏場24~28° 設定等)	① 通年	    
			② 照明の適切な運用(不要な照明の消灯等)	② 通年	
		② 重機等燃料(軽油)使用量の削減	① 重機使用時のこまめな起動	① 通年	
			② 重機運転時の省エネ意識持続	② 通年	
			③ 適切にメンテナンスを行う	③ 通年	
		③ 車両燃料(ガソリン)使用量の削減	① 車両利用時の省エネ運転(無用なふかし、速度超過等)	① 通年	
			② 適切にメンテナンスを行う	② 通年	
		(2)水道使用量の削減	① 事務所内での節水呼びかけ	① 通年	
		(3)一般廃棄物排出量の削減	① 廃棄物削減の呼びかけ	① 通年	
		(4)化学物質の適正管理	① 使用量等を管理する。	① 通年	
② 適正な使用量を守る。	② 通年				
4	従業員及び県民の環境意識高揚	① 内部勉強会	① 年1回以上	 	
		② HP等への研修実施案内掲載	② 通年		
		③ 外部からの研修見学への対応	③ 要請の都度		
5	環境関連データの公表	① 環境経営レポートのHPへの掲載	① レポート改定時	  	
		② 搬入量、水質検査結果等のHPへの掲載	② 毎月		

IX 環境経営目標の実績

- ・2022年度の環境経営目標達成状況は以下のとおりであり、5項目10目標のうち、4項目7目標で目標を達成できませんでした。これは、廃棄物搬入量が基準年比で約1.6倍に増加し、これによる水処理施設も運用増となり、電気、軽油、水道使用量が増加して目標を達成できませんでした。
- ・二酸化炭素排出量は約141t-CO₂で、基準年(約53t-CO₂)の約2.7倍と搬入量増加率を上回っており、まだ本格稼働に至る途中段階にあると考えら、今後の安定運転下でのデータ変化に着目していきたいと考えています。
- ・当社の強みとした本業目標については、外部研修・見学を本年は26回実施でき、また、環境データを自社HPに毎月掲載することが出来ました。
- ・今後は環境意識を高め、全社員が一丸となって環境への取組を徹底させ、全項目の目標達成を目指していきます。

項目番号	環境経営目標	単位	基準年	2022年度 (2022/4~2023/3)		目標達成率	目標達成状況	評価
			2020年度 (2020/4~2021/3) 実績値	目標 (△1%)	実績			
1	環境関連法規等の遵守	-	法令等遵守	法令等遵守	法令等遵守	-	○	・実施期間における環境関連法規等は遵守されていた。
2	地元との協調体制維持	-	協調維持	協調維持	協調維持	-	○	・安和区協議会への参加、行事への参加を通じて、協調体制は維持された。
3	環境負荷への対応							
	(1)二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	58,881	58,292	140,750	-	-	参考(総量表示)
	①電気使用量の削減	kg-CO ₂ /t (kg-CO ₂)	10.320 (49,043)	10.217 (△1%)	14.529	70%	×	・水処理施設の本格稼働及び搬入量増による水処理施設運用増により、目標未達となった。
	②重機等燃料(軽油)使用量の削減	kg-CO ₂ /t (kg-CO ₂)	1.769 (8,408)	1.752 (△1%)	1.968	89%	△	・搬入量増加及び重機台数追加に伴う重機等使用時間が増加したため、目標未達となった。
	③車両燃料(ガソリン)使用量の削減	kg-CO ₂	1,430	1,416 (△1%)	1,064	133%	◎	・コロナ禍による外出機会の減少によりガソリン使用量が減少し、目標を達成した。
	(2)水道使用量の削減	m ³ /t	0.029	0.028 (△1%)	0.057	50%	×	・水処理施設の本格稼働及び搬入量増により、水処理施設運用のための散水量が増加して目標未達となった。
	(3)一般廃棄物排出量の削減	kg	37.6	447 (△1%)	285	157%	◎	・廃棄物排出抑制の取組によりごみ排出量が削減し、目標を達成できた。
	(4)化学物質の適正管理	-	適正管理	適正管理	適正管理	-	○	・全ての薬品について適正に管理できた。
4	従業員及び県民の環境意識高揚	回	研修見学対応 学校1回、 会社等3回	研修見学対応 2回以上	研修見学対応 会社等26回	1300%	◎	・内部勉強会を開催(2022年4月)し、外部からの研修、見学は26回対応した。
5	環境関連データの公表	-	各データの公表	各データの公表	各データの公表	-	○	・各データを毎月当社HPへ掲載した。
	廃棄物搬入量実績	t	4,752		7,694			

備考) 1.目標達成率の計算 削減目標の場合: 目標÷実績×100 増加目標の場合: 実績÷目標×100
2.目標達成判定区分 ◎: 目標達成率120%以上、○: 100%以上120%未満、△: 80%以上100%未満、×: 80%未満、-: 判定不可

X 環境経営計画の取組結果と今後の予定

- ・2022年度の環境経営計画の取組実施状況は以下のとおりであり、業務量増加で電気、軽油、水道水削減の取組がやや不十分となったが、それ以外の取組は全体としては適切に実施することが出来ました。
- ・次年度は、今年度実施不良となった取組活動を中心に取組が進むよう、社員にもっと意識づけを行っていきます。

項目番号	目標項目	主な取組計画	取組結果	取組実施状況	今後の取組予定				
1	環境関連法規等の遵守	① 関連法規の改定時の適時内容確認	① 運用良好	○	①現在の取組を継続する ②現在の取組を継続する ③現在の取組を継続する				
		② 契約手続きの適法性確保	② 運用良好						
		③ 環境保全協定の随時確認	③ 運用良好						
2	地元との協調体制維持	① 安和地区産廃協議会会議への参加	① 2022年5,8,11、2023年2月に参加(書面含む)	○	①現在の取組を継続する ②現在の取組を継続する ③現在の取組を継続する				
		② 環境保全協定の随時確認	② 会議時確認						
		③ 地元行事等への積極参加	③ 地元行事への参加						
3	環境負荷への対応	(1) 二酸化炭素排出量	① 電気使用量の削減	① エアコンの適切な運用(夏場24~28° 設定等)	① 運用良好	△	①現在の取組を継続する ②現在の取組を継続する		
				② 照明の適切な運用(不要な照明の消灯)	② 運用良好				
					※実績増は水処理施設の本格稼働と搬入増による稼働増				
			② 重機等燃料(軽油)使用量の削減	① 重機使用時のこまめな起動	① 運用良好			△	①現在の取組を継続する ②現在の取組を継続する ③現在の取組を継続する
				② 重機運転時の省エネ意識持続	② 省エネを意識して運転対応				
				③ 適切にメンテナンスを行う	③ 処理水運搬車オイル交換実施				
				※実績増は業務量増加による					
		③ 車両燃料(ガソリン)使用量の削減	① 車両利用時の省エネ運転(無用なふかし、速度超過等)	① 省エネを意識して運転対応	○	①現在の取組を継続する ②現在の取組を継続する			
			② 適切にメンテナンスを行う	② 業務車両定期点検実施					
				※外出減による減少効果あり					
		(2)水道使用量の削減	① 事務所内での節水呼びかけ	① 水道利用時に意識している	△	①現在の取組を継続する			
				※水処理施設本格稼働及び搬入量増による水処理施設運用増による散水量					
(3)一般廃棄物排出量の削減	① 廃棄物削減の呼びかけ	① 運用良好	○	①現在の取組を継続する					
(4)化学物質の適正管理	① 使用量等を管理する。	① 日々報告継続	○	①現在の取組を継続する ②現在の取組を継続する					
		② 適正な使用量を守る。			② 使用時に使用量確認				
4	従業員及び県民の環境意識高揚	① 内部勉強会	① 2022年8月開催	○	①定期的に実施する。 ②現在の取組を継続する ③随時見学に対応する。				
		② HP等への研修実施案内掲載	② 掲載済						
		③ 外部からの研修見学への対応	③ 見学、研修等26回対応						
5	環境関連データの公表	① 環境経営レポートのHPへの掲載	① 掲載済み	○	①現在の取組を継続する ②現在の取組を継続する				
		② 搬入量、水質検査結果等のHPへの掲載	② 月次報告分を毎月HPへ掲載						

備考)取組実施状況判定区分 ○:よく取り組めた(定着)、○:取り組めた、△:さらに取り組みが必要、×:取り組めなかった、-:判定不可

XI 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

- ・当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりです。
- ・年度末に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの違反の指摘や利害関係者からの訴訟等も過去3年間ありませんでした。

	主な適用法規	遵守すべき主な事項	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	最終処分場の維持管理基準 マニフェストの保管他	○
2	安和地区協定書	モニタリングの実施と公表 運搬車両の運行ルート規制	○
3	消防法	消防訓練の実施 消火器の点検	○
4	浄化槽法	浄化槽の清掃・点検	○
5	フロン排出抑制法	機器の簡易点検(3ヶ月に1回) 定期点検(3年に1回 2022年度実施 次回は2025年度)	○
	<廃棄物の処理及び清掃に関する法律に準ずるもの>		
6	水質汚濁防止法	放流水の水質検査	○
7	下水道法	放流水の水質検査	○
8	PRTR法	薬品の安全管理	○
9	毒物及び劇物取締法	毒劇物の安全管理	○

備考) 遵守判定区分 ○:遵守 ×:不遵守 ー:該当なし

XII 代表者による全体評価と見直し検討

- ・2023年4月1日に、2022年度の取組状況に対して代表者による全体評価と見直しを行いました。
- ・結果は以下のとおりです。

1 各項目の評価と見直し検討

項番	対象項目	評価	見直し検討事項
	環境経営方針、行動指針	運用上、特に問題ない。	・策定後、間もないことから現状通り。
	実施体制	運用上、特に問題ない。	・策定後、間もないことから現状通り。
1	環境関連法規等の遵守	2022年度運用期間中は遵守されていた。	・今後も、遵守すること。
2	地元との協調体制確保	取組は概ね実行されていた。	・今後も鋭意、取り組んでいくこととする。
3	環境負荷への対応	(環境経営目標の実績) 初年度(2020年度)に比べて、搬入量、業務量増により、環境負荷への対応項目は殆ど目標を達成されなかったうえ、大幅増となる項目もあった。	・搬入量の大幅増(2020年度4,752t、2022年度7,695t、62%増)により、搬入作業、水処理作業も増加したことが要因と思われる。 ・今後は搬入量の推移を把握し、基準年の見直し等を含めた検討が必要である。 ・但し、作業の効率化、改善等を日頃から意識し、環境負荷の抑制に向けた更なる努力を継続する必要がある。
		(環境経営取組の評価) 取組は概ね実行されていた。	・今後も、継続必要。
4	従業員及び県民の環境意識高揚	従業員への勉強会実施、外部からの視察見学等に対応した。	・今後も、継続必要。
5	環境関連データの公表	毎月HPへの掲載、安和区協議会への報告等に対応した。	・今後も、継続必要。

2 全体評価

- ・2020年度から事業を開始し、2022年度は3年目に当たるが、2020年度に比べ大幅な搬入量増に伴う業務量増加があったことや、水処理施設の本格的な稼働があったため、特に環境負荷への対応項目で目標値を大幅に上回った項目が見受けられた。
- ・重機等燃料(軽油)については、埋立作業の効率化を図るため、重機の台数を増やしたことにより、使用燃料も増えている。
- ・また、環境経営取組については浸透しつつあり、一般廃棄物の排出量や社用車使用に伴う燃料(ガソリン)使用量は減少している。
- ・環境実施体制、関連法規等遵守、環境意識の高揚、環境関連データ公表は概ね達成されていたと思慮される。
- ・当社の得意分野である研修の場としての施設利用や、会社見学の回数が増えており、県民の環境意識高揚の場として活用されていると思慮される。
- ・2023年度に被覆施設の移設工事を行う予定であり、それに伴い搬入が一時的に止まることから搬入量や業務量の減少が見込まれている。そこで、今後は環境経営目標の適正な設定方法等を検討しつつ、その目標達成に向けて、鋭意努力していく必要がある。

3 見直し検討

- ・次年度は現計画を継続するが、現在が廃棄物搬入量、業務量の増加期にあり、今後の推移を把握して、基準年の見直しを含めた現計画の適合性を検討していくものとする。

関連法規対応状況

作成日	改訂日	承認者	作成者
2021/8/2	2023/4/1	普天間	伊良部

R4年度 (2022年度)

	適用法規	項目	遵守すべき主な事項	対応内容
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	施設	産業廃棄物管理型最終処分場 沖縄県名護市宇安和神崎原2027番2、他40筆	
		許可	① 産業廃棄物処分業(管理型埋立) 第04731212365号 (許可年月日:令和3年(2021年)6月8日、有効年月日:令和6年(2024年)10月31日)	R6年更新予定
			② 特別管理産業廃棄物処分業(管理型埋立) 第04781212365号 (許可年月日:令和元年(2019年)11月1日、有効年月日:令和6年(2024年)10月31日)	R6年更新予定
			③ 一般廃棄物処分業 名護市許可第2号 (許可期間:令和3年(2021年)10月23日から令和5年(2023年)10月22日)	R5年更新予定
		測定	① 周縁地下水等水質検査(月1回)	継続中 R4/8月済 継続中 R4/10月済 R4/9月済 R4年6,9,12月 R5年3月済
			② 周縁地下水等水質検査3地点(年1回)	
			③ 放流水水質検査(月1回)	
④ 放流水(処理水)水質検査(年1回)				
⑤ 浸出水(原水)水質検査(年1回)				
⑥ 最終処分場残余容量の測定(年1回)				
報告	① 維持管理情報の公開(毎月)	継続中		
資格	① 最終処分場技術管理士(施設整備課長)	取得済		
2	安和地区協定書	測定	① 石綿濃度調査(年1回) ② 騒音・振動調査(2年に1回) ③ 悪臭調査(2年に1回)	R4/8月済 R4/8月済 R4/8月済
		報告	① 安和区産廃協議会での報告(年4回)	第32~35回 4回済
3	消防法	点検等	① 消防用設備等の機器点検(半年1回) ② 消防用設備等の総合点検(年1回) ③ 消防訓練の実施(年1回)	R4/7、R5/1済 R5/1月済 R4/7月済
		報告	① 点検結果の消防署への報告(3年に1回)	R5年度未予定
4	浄化槽法	検査等	① 浄化槽の検査(年1回) ② 浄化槽の点検(年3回) ③ 浄化槽の清掃(年1回)	R4/11月済 R4/7、11、R5/3月 R4/8月済
5	フロン排出抑制法	点検等	① 対象機器の簡易点検(3か月毎) ② 定期点検(3年に1回、R4年度実施、R7年度、R10年度、R13年度、R16年度)	継続中 R4/12月実施
6	水質汚濁防止法	点検等	① 放流水水質検査(月1回、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の測定結果で確認) ② 放流水水質検査(年1回、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の測定結果で確認)	継続中 R4/8月済
7	下水道法	点検等	① 放流水水質検査(月1回、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の測定結果で確認) ② 放流水水質検査(年1回、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の測定結果で確認)	継続中 R4/10月済
8	PRTR法	点検等	① 薬品使用量点検	継続中
9	毒物及び劇物取締法	点検等	① 薬品使用量点検	継続中

環境経営レポート各項目の内容確認資料

(確認資料のため環境経営レポートには含まない)

R4年度

(2022年度)

(各項番内容は右記参照)

- 1 環境関連法規等の遵守
- 2 地元との協調体制確保
- 4 従業員及び県民の環境意識高揚
- 5 環境関連データの公表

年月日	1	2	4	5	内 容	結果等
R4.4.15				○	HPに維持管理情報掲載3月分	
R4.4.18			○		当社施設見学(清水建設、オキセイ産業)	
R4.4.22			○		当社施設見学(金武地区消防衛生組合)	
R4.4.27			○		当社施設見学(海邦銀行)	
R4.4.30	○				運転管理月報内容確認4月分	各数値に問題なし
R4.5.11			○		当社施設見学(沖縄県企業局)	
R4.5.25		○			第32回安和区内処分場地域協議会参加(書面会議)	維持管理情報報告、委員より質問(6/1回答、了解済)
R4.5.25				○	HPに維持管理情報掲載4月分	
R4.5.31	○				運転管理月報内容確認5月分	各数値に問題なし
R4.6.1			○		当社施設見学(産業資源循環協会)	
R4.6.9			○		当社施設見学(沖縄振興開発金融公庫)	
R4.6.17				○	HPに維持管理情報掲載5月分	
R4.6.27			○		当社施設見学(沖縄ターミナル)	
R4.6.30	○				運転管理月報内容確認6月分	各数値に問題なし
R4.7.1			○		当社施設見学(アンカー)	
R4.7.12	○				消防設備点検及び消防訓練	設備一部に交換が必要
R4.7.22	○				浄化槽保守点検 1回目	異常なし
R4.7.27	○		○		特別管理産業廃棄物処理業許可申請講習会参加	8/23~24、福岡県、専務参加
R4.7.29				○	HPに維持管理情報掲載6月分	
R4.7.31	○				運転管理月報内容確認7月分	各数値に問題なし
R4.8.4			○		当社施設見学(沖縄振興開発金融公庫)	
R4.8.5		○			第33回安和区内処分場地域協議会参加(書面会議)	維持管理情報報告、質問等特になし
R4.8.16			○		EA21中間審査研修	内容周知、役割確認等
R4.8.18			○		EA21中間審査受検	
R4.8.24			○		当社施設見学(鹿島建設)	
R4.8.25			○		当社施設見学(金武地区消防衛生組合)	
R4.8.25	○				北部保健所、衛生環境研究所水質検査	
R4.8.25	○				浸出水(原水)水質調査	各数値に問題なし
R4.8.26				○	HPに維持管理情報掲載7月分	
R4.8.29	○				浄化槽清掃	
R4.8.30	○	○			石綿濃度、騒音、振動、悪臭調査	各数値に問題なし
R4.8.30	○				周縁地下水等水質調査	各数値に問題なし
R4.8.31	○				運転管理月報内容確認8月分	各数値に問題なし
R4.9.16	○				地下水集水ピット水質調査	各数値に問題なし
R4.9.27				○	HPに維持管理情報掲載8月分	
R4.9.29			○		当社施設見学(沖縄プラント工業)	質問等特になし
R4.9.30	○				運転管理月報内容確認9月分	各数値に問題なし
R4.10.4	○				浄化槽法定検査結果(浄化槽法第11条)	判定:適正(ばっ気攪拌が停止していたため、10.7に対
R4.10.4			○		産業資源循環協会出前講座開催	沖縄県産業資源循環協会主催
R4.10.20	○				放流水(処理水)水質調査	各数値に問題なし
R4.10.24				○	HPに維持管理情報掲載9月分	
R4.10.31	○				運転管理月報内容確認10月分	各数値に問題なし
R4.11.1	○				北部保健所の処理施設総点検	指摘等なし
R4.11.18			○		当社施設見学(宮古島市役所)	質問等特になし
R4.11.22			○		当社施設見学(産業資源循環協会中間処理部会)	
R4.11.17		○			第34回安和区内処分場地域協議会参加	環境モニタリング結果報告。委員より質問あり。回答了解済み。
R4.11.22	○				浄化槽保守点検 2回目	異常なし
R4.11.29				○	HPに維持管理情報掲載10月分	
R4.11.30	○				運転管理月報内容確認11月分	各数値に問題なし
R4.12.1			○		当社施設見学(日本建設業連合会)	
R4.12.5	○				空調機器定期点検	特に異常なし(次回R7予定)

R4.12.26				○	HPに維持管理情報掲載11月分	
R4.12.31	○				運転管理月報内容確認12月分	各数値に問題なし
R5.1.12	○				消防法設備点検	特に問題なし
R5.1.24			○		産業廃棄物処理に関する研修開催	沖縄県環境整備課主催
R5.1.30		○			第35回安和区内処分場地域協議会参加	維持管理情報報告
R5.1.31				○	HPに維持管理情報掲載12月分	
R5.1.31	○				運転管理月報内容確認1月分	各数値に問題なし
R5.2.2			○		当社施設見学(ナンセイ)	
R5.2.8			○		当社施設見学(パナソニックホームズ)	
R5.2.9			○		当社施設見学(沖縄プラント工業)	
R5.2.10			○		当社施設見学(JFEエンジニアリング)	
R5.2.15			○		産業廃棄物処理に関する研修会受講	執行役員受講
R5.2.21			○		当社施設見学(環境省)	
R5.2.21	○				北部保健所、衛生環境研究所水質検査	
R5.2.24			○		当社施設見学(南部広域事務組合)	
R5.2.28			○		当社施設見学(琉球海運)	
R5.2.28				○	HPに維持管理情報掲載1月分	
R5.2.28	○				運転管理月報内容確認2月分	各数値に問題なし
R5.3.2			○		当社施設見学(琉球銀行)	
R5.3.17			○		当社施設見学(拓南商事)	
R5.3.27	○				浄化槽保守点検 3回目	異常なし
R5.3.31				○	HPに維持管理情報掲載2月分	
R5.3.31	○				運転管理月報内容確認3月分	各数値に問題なし

資格取得者一覧

2023/3/31 現在

	資格名	帰属	取得者	取得年月
1	特別管理産業廃棄物処理業	当社	伊良部誠也	2022年2月
2	特別管理産業廃棄物処理業	当社	普天間朝好	2022年8月
3	最終処分場技術管理士	当社	久高幸祥	2021年12月
4	下水道第三種技術検定	協和化工	川口公二	2016年12月
5	最終処分場技術管理士	協和化工	川口公二	2007年3月
6	廃棄物処理施設技術管理者	協和化工	川口公二	1999年2月
7	第二種酸素欠乏危険作業主任者	協和化工	川口公二	1998年11月
8	特定化学物質等作業主任者	協和化工	川口公二	1999年1月